

事業所名

浦和みその発達支援センターあすなる

支援プログラム

作成日

2025年

3月

3日

法人（事業所）理念	子ども達が、未来に向けて夢や希望を持ち、明るく・楽しく・元気よく、心身ともにすこやかに成長していくことができるような児童発達支援事業所として、豊かな社会づくりに貢献します。					
支援方針	○行動だけに着目するのではなく、行動の後ろにある『きもち』に着目します。 ○『理由』や『伝えたいきもち』を想像し、行動を受け止めていきます。 ○行動を制限したり訓練をするのではなく、『理由』にあった働きかけをします。 ○お子さまの『言いなり』や大人側の『一方的な押し付け』ではなく、どう解消・解決、習慣付けていくのか一緒に考えます。					
営業時間	9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支援内容						
本人支援	健康・生活	・口腔機能の支援（咀嚼・嚥下）につきましては、研修や医師の指導を受けた職員が、生育歴の状況を把握しながら、丁寧に対応させていただきます。お子さまの口腔機能の状態とその支援方法について保護者様や関係機関と連携を図っていきます。・着脱においては、身体や目の使い方等を把握し、本人の発達段階に合った支援や、特性（過敏・協調運動の苦手さ等）に配慮した支援を行います。 ・本人の興味や発達・特性に合った楽しい活動を設定し、分かりやすい環境を整え、情緒の安定を図り、自分の力を発揮できるようにしていきます。				
	運動・感覚	・身体が動いてしまう、身体の使い方にぎこちなさがある、細かい作業が苦手である等のお子さまに対して、感覚統合を行い、改善できるようにしていきます。 ・身体や手に過敏のあるお子さまに対して、粗大運動や微細運動や環境調整を行い、過敏の軽減を図り、将来の生きづらさの解消に努めていきます。				
	認知・行動	・物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、大小、数、重さ等の概念の形成を、訓練ではなく、精神的負荷のない活動（遊び）を通して支援していきます。 ・様々な活動の中で、視覚や、聴覚、触覚等の感覚を使い、興味をひろげ、イメージする力を養います。 ・スケジュール等を使うことで、見通しを持つことができ、安心して様々なことに挑戦できるよう支援していきます。				
	言語コミュニケーション	・アイコンタクトや指さし、身振り、サインなど、言葉以外のコミュニケーション手段を育み、また必要に応じて絵カードや写真、実物（現物）を使い、環境の理解や意思の伝達を図っていきます。 ・具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけるなど、言葉の概念形成を丁寧に行い、言葉の表出につなげていきます。 ・様々な活動の中で、楽しさを共感してもらい、相手に伝えたいという思いを育てていきます。				
	人間関係社会性	・乳幼児期だけではなく、それ以降の児童期～成人期のことをふまえ、利用児のことを理解し、人への信頼関係を築けるようにしていきます。利用児に合った支援を考え、保護者や関係者（母集団の先生等）にも共有し、安心して過ごせるようにしていきます。 ・他児との存在を認め合いながら仲間づくりに興味をもてるように支援します。 ・自分の得意なこと、好きなこと、苦手なことを知り、気持ちや情動の調整をできるように支援します。				
家族支援	お子さまの発達や特性の状況、その支援方法についてお話しいたします。困ったことがあればご相談いただければと思います。			移行支援		ご依頼いただければ、保育園や幼稚園、こども園等の母集団に訪問し、ご報告させていただきます。また母集団の連携を図っていきます。
地域支援・地域連携	ご依頼いただければ、相談支援事業所との連携を図っていきます。			職員の質の向上		ASD・ADHDの特性の理解とその対応方法の研修、ケース検討、園訪問についての研修等
主な行事等	興味のある行事等を、個別指導や、グループ指導の中で、制作等をし、季節感を味わい楽しめるようにしていきます。					